



正院川尻城



通称高要害と呼ばれる主郭（第一郭）

所在地：石川県珠洲市正院町川尻

立地：丘陵先端、標高33m

城主：川尻長氏、長与市景連

時期：室町、戦国

見学時間（参考）：30分～1時間

飯田湾沿いの内浦街道が南方直下を通る交通の要衝に位置する。占地する丘陵が海岸線近くまで迫る地形から、街道と海上を監視する適地に築城されている。タカヨウガイ（高要害）、シモヨウガイ（下要害）、ドイ（土居）、ウチゴウ（内濠）、トノヤマ（殿山）など周辺に城に関係する小字名が残っている。



城内最大面積の第三郭

正院川尻城の築城者は伝わっていないが、正院郷川尻村を本貫地とした川尻長氏の可能性が高い。川尻長氏は能登の有力国人として、長享元年（1487）室町幕府の奉公衆として見える。故墟考では天正4年（1576）12月、奥能登に侵攻した上杉謙信が家臣の長与市景連を正院川尻城に置いたと伝えている。その後一旦島山方に奪還されるが、翌5年3月に再侵攻した謙信により再び景連が置かれた。景連は越後黒滝長氏の一族とされ、謙信と織田信長が同盟を結ぶ際に起請文を届けるなど織田氏との外交を担当したと考えられている。天正7年（1579）8月、旧島山家臣の温井・三宅氏と織田軍連合に攻められ、景連は海路越後に逃れた。長年の耕作などにより破壊され、わからないことも多い。城跡は5つの平坦地（曲輪）からなる。発掘調査の結果、第三郭・第五郭間の空堀は幅12m、深さ5m以上の規模だったことが判明しており、往時は県内屈指の中世城館であった。



第三郭と第五郭の間の空堀



井戸跡



登城口・城西より



登城口・稲荷神社（観光者向け）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>